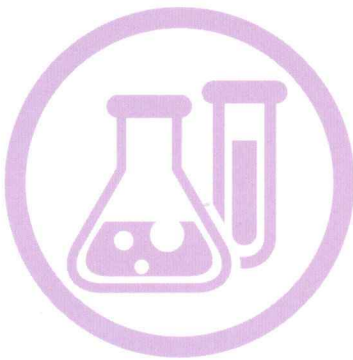
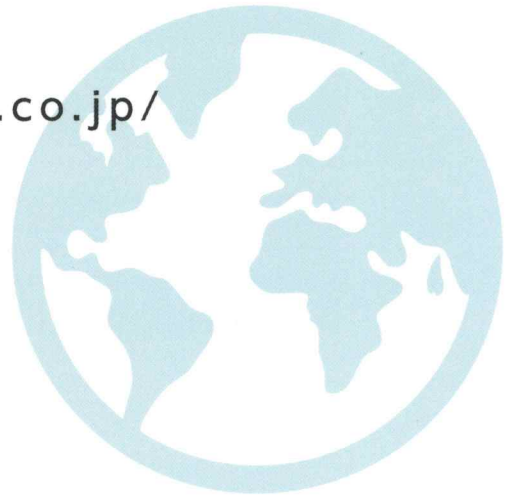


Recruiting Guide

www.feed-one.co.jp/



FEED ONE

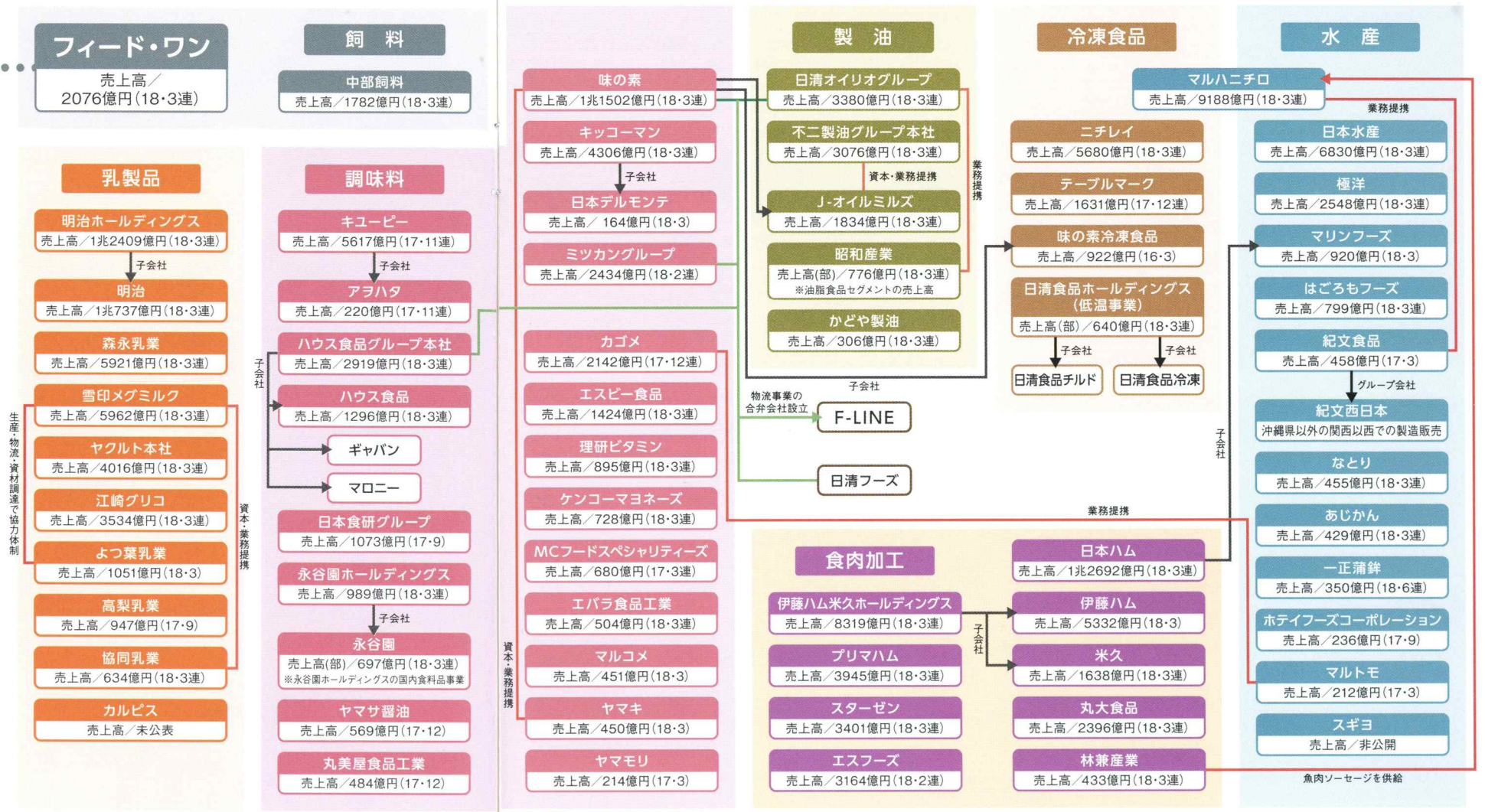


”おいしさのみなもと”をお届け



FEED ONE
おいしさのみなもと

- 畜産飼料事業
- 水産飼料事業
- 食品事業
- 研究開発
- 海外事業



幅広い活躍のフィールド 畜・水産業界の「川上から川下まで」をサポート

フィード・ワンでは原料の調達から、飼料の製造・販売、畜・水産食品の販売まで、一貫した取り組みを行っています。畜・水産業界の「川上から川下まで」を支えているからこそ、当社には多岐にわたる活躍の場があります。

原料調達

海外から調達した原料は、2~3ヶ月かけて日本へ輸入されます。また、国内でも原料を調達しており、食品メーカーの食品副産物等も有効な原料として利用しております。



飼料製造

国内外から調達した原料は飼料工場加工され、配合飼料となります。また、飼料工場では原料や完成した配合飼料の品質検査も行い、出荷に備えています。



生産者

出荷された配合飼料は、専用トラックに積み生産者の元へ届けられます。配合飼料は家畜に与えられ、効率の良い成長を促します。



消費者

出荷された家畜は、加工・流通段階を経て、スーパー等に納品されます。消費者が購入・調理することによって食卓へと並びます。



「安心・安全」で「おいしい」を食卓へ

畜産飼料事業

主に牛・豚・鶏の飼料を扱います。長年にわたり培ってきた開発力と最新技術を生かし、生産性向上に寄与する安心・安全な飼料を提供しています。

生産者の求める畜産経営実現のため、同社の持つ総合力を駆使し、多角的にサポートします。

世界の畜産業を支える

畜産業で飼育される牛、豚、鶏などのえさとして、さまざまな原材料を配合・加工して作られるのが配合飼料です。配合飼料は、家畜の種類や発育ステージに応じて、最適な栄養バランスや形状で製造供給されています。フィード・ワンはすべての家畜用配合飼料において業界トップクラスのシェアを誇ります。



肉豚
急速な発育を支えるための最適な配合が組まれた飼料。

採卵鶏
鶏種に合わせた設計により、卵量の向上に加え、丈夫な卵殻の卵の生産に適した飼料。

ブロイラー
飼育効率と産肉量の向上はもちろん、おいしい肉質の実現を目指した飼料。

乳牛
乳量の増加、乳成分の改善、搾乳が可能な生産寿命の向上を最大限に引き出す飼料。

肉牛
品種ごとの産肉特性や肥育ステージに応じ、増体や肉質の充実を考慮した成分、物性、飼育原料が加味された飼料。

安心・安全な原料から、確かな製品をお届け

配合飼料の原料には穀類、そうこう類、植物油かす類、動物質性原料などさまざまなものが使われています。それらを家畜の種類、発育ステージ、地域や飼育環境ごとに家畜栄養学に基づいて、最適な栄養バランスで配合しています。当社は、産地が明らかで、品質条件をクリアした安心・安全な原料のみを採用し、製品を製造しています。



テクノロジーを駆使したサービス

- 環境測定(ベンチレーション)
- 独自システムを用いた配合設計のご提案
- リーンメーターによる背脂肪厚の確認
- リキッドフィーディングの設計サポート
- 畜舎内の様々な資材のご提案

豊富なラインナップ

| | |
|---------|---------|
| 実験動物用飼料 | ペットフード |
| 養蜂飼料 | 小動物フード |
| 動物園フード | 鑑賞魚フード |
| 動物病院フード | 愛玩家禽フード |

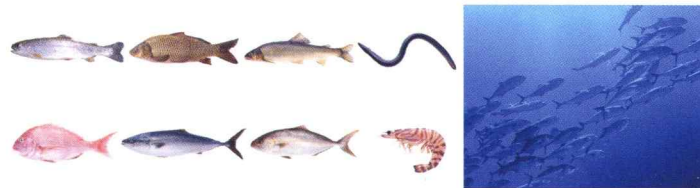
水産飼料事業

養殖魚用の飼料を扱います。鯛、ブリ、カンパチ等、魚種は様々です。

そして近年では極洋フィードワンマリン社より、完全養殖クロマグロ「本館の極つなぐTSUNAGU」の出荷を開始しました。生産者のニーズに応える製品開発、生産、販売体制で「安心・安全」な水産飼料をお届けし、水産養殖の発展に貢献していきます。

高まる水産飼育への期待と役割

マス、コイ、アユ、ウナギ、タイ、ハマチ、カンパチ、クルマエビなど、日本の食文化に欠かせない魚たち。その多くは養殖されています。現在、生餌となる魚の漁獲量の減少、養殖魚場の環境保全などの理由から、養殖魚の餌は配合飼料が主流となりつつあり、安定供給、養殖魚の健康・栄養管理、品質向上ニーズから、配合飼料への期待はますます膨らんでいます。フィード・ワンでは、国内外の幅広い魚種のニーズに応える水産飼料の開発・提供で養殖業に貢献しています。



安心・安全飼料を供給

水産飼料にもさまざまな形状があり、魚種・ステージに合わせた最適な選択が可能です。お客様に提供する飼料は、国内はもとより海外から輸入し、自社の厳しい品質基準をクリアした原料を使用しています。そして、パイオニアとして培ってきた技術、最新の知見及び研究成果を加えて養殖魚の栄養面や飼育管理を満たすように設定された配合設計に基づいて製造されています。製造工程では「高度な製造技術」と「HACCPの管理手法や徹底した品質管理」のもと高品質で安心・安全な配合飼料を生産し、お客様にご満足いただける製品を安定供給しています。



フィード・ワンの取り組み

- 魚粉削減の取り組み
近年では、魚粉の不足が見込まれることから代替原料の採用による魚粉削減が不可欠となってきています。当社においては2007年よりいち早く製品化に対応し、従来品と遜色のない成長が確保されました。今後も、段階的な魚粉削減と飼養技術の向上に取り組んでいきます。
- クロマグロ完全養殖への挑戦
1986年からクロマグロの種苗生産技術の研究に着手、人工親魚から完全養殖魚の生産及び飼育体系の確立を目指しています。当社の人工孵化技術及び効率的な飼料開発と天然種苗からの蓄養経験、技術の融合による完全養殖クロマグロを2017年11月より出荷を開始いたしました。

HACCP(Hazard Analysis and Critical Control Point):食品の原料受け入れから製造・出荷までのすべての工程において、危害の発生を防止するための重要ポイントを継続的に監視・記録監視する衛生管理手法。

食品事業

“食肉、鶏卵、水産物”を三本柱として生産から販売まで一貫したフードバリューチェーンを構築しています。飼料メーカーだからこそ実現できる、安心・安全な価値ある食品をお客様の食卓にお届けします。

生産から食卓までのトータルコーディネーター

食品を構成する飼料・生産・加工・流通の各分野において、フィード・ワンは、飼料メーカーならではのノウハウやネットワークを持っており、それらの強みを活かし、生産からお客様に商品をお届けするまでの一連のサプライチェーンをトータルコーディネートします。産地だけでなく生産情報の開示や衛生管理といった一歩進んだ安心・安全への取り組み、飼料や生産方法にこだわった美味しさの追求、ご要望に合わせた商品規格の開発などお客様の多様な価値を実現いたします。



日本全国で幅広いご提案

食品事業にとって、全国が「産地」であり「お客様」でもあります。全国の支店やグループ会社と連携し、日本全国の優良生産者の中から、お客様のご要望に合った安心・安全で質の高い商品をご提供することができます。こうした商品を日本全国のお客様(小売店・外食業界)に向けご提案し、安定的に供給していきます。



“食肉、鶏卵、水産物”が三本柱



さらなる「おいしさ」を・・・

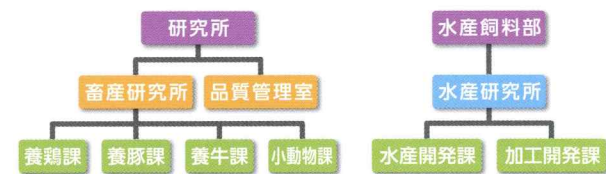
研究開発

原料調達から生産現場までのフードチェーンにおける食の安心・安全を確かなものにするため、情報収集の向上、化学分析・衛生検査技術の精度向上と迅速化に努めています。これまでに培ってきた独自の技術を最大限に活用し、畜産・水産動物の生産者の方々に貢献するとともに、安心・安全で「おいしい」を食卓に提供する研究・技術開発に取り組んでいます。

安心・安全で「おいしい」を日本中へ

より品質が高く「おいしい」畜・水産物を低コストで生産できるよう、畜産動物、魚類などの栄養学に基づきそれぞれの生理にあった配合飼料及び飼養技術の開発に取り組んでいます。さらに従来は配合飼料として利用されていなかった様々な原料やエコフィード利用方法を研究し、コストパフォーマンスの高い飼料の実用化に取り組んでいます。

これからも、飼養技術や防疫衛生のコンサルティング等を通じて生産者の生の情報を迅速に研究・製品開発に活かし、お客様のニーズを捉えた製品をいち早く供給できるよう、さらなるサービスの拡充を図っていきます。



海外事業

日本で培ったノウハウを基に海外にも拠点を設置。世界の安心・安全な食生活への貢献を目指し、経済発展の著しいアジア地域とともに歩んでいきます。

アジア地域への取り組み

現在も経済成長が続くアジア地域では、国民の所得増大に伴い畜水産物生産量も大きく増加しています。配合飼料市場としても、潜在規模・成長性が見込まれる有望な市場となっています。特に水産分野は、養殖による漁業生産量が世界的に増加する中、アジア地域での生産量が大きく伸びています。このような状況の一方、配合飼料の利用率がまだ低い地域もあるため、飼料事業にとっても潜在力のある非常に有望な市場となっています。

- ベトナム** ベトナムは豚の飼養頭数がASEAN内でトップ、日本の約3倍を有しています。平均年齢も30歳前後と若いことから食肉需要も年々増大しており、アジアの中でも活気あふれる市場です。南部のホーチミン市を中心に、双日株式会社と合弁で飼料事業を展開しています。
- インド** インドは世界3位の水産養殖量を誇り、平均年5%の成長を続けています。私たちは淡水魚養殖、エビ養殖分野でこの成長を取り込むべく、インド東部の西ベンガル州カラグルルに工場を構え、現地企業Shalimar社との合弁で飼料事業を展開しています。

これからの展望

アジアの畜・水産業界を支え、世界の食文化に貢献する

近年、成長著しいアジアでは卵・肉・魚の需要が急増化しており、配合飼料の需要もさらに高まると予測されています。そこで、フィード・ワンは総合商社「双日」と協力し、ベトナムに飼料工場を設立し、飼料業界で初めて本格的な海外進出を実現しました。現在はベトナム国内向けに豚用・鶏用配合飼料の製造販売を行っています。また、世界第2位の巨大な水産養殖市場を持つインドにも拠点を構え、現地企業と水産用配合飼料の製造販売を行っています。

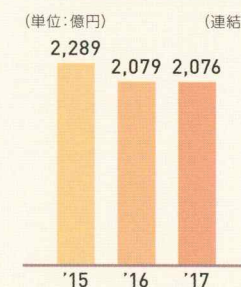
配合飼料の利用率が未だ低い地域もあるため、フィード・ワンは、配合飼料の普及と共に現地の畜・水産産業の発展にも貢献しています。日本で培ってきたノウハウを基に、世界の安心・安全な食生活への貢献を目指し、経済成長著しいアジアとともに歩んでいきます。



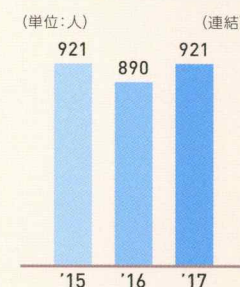
Company Profile

設立 / 2014年10月1日
 資本金 / 100億円
 売上高 / 2,076億円(2018年3月期/連結)
 代表者 / 代表取締役社長 山内 孝史
 従業員数 / 921名

売上高の推移



従業員数の推移



事業別売上構成比率



拠点

- 本社
- 支店
- 水産飼料部
- リサーチセンター
- 工場





フィード・ワン株式会社

〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2

TEL/045-311-8901 FAX/045-311-2501

E-mail/recruit@feed-one.co.jp